

ル・モンド入門レッスン第9回 (04/09)

Dave Goulson, prof. à l'université du Sussex の書いた本の紹介です：

*Terre silencieuse. Empêcher l'extinction des insectes* (仏訳)

この題名を見てすぐ思い浮かぶのがレイチェル・カーソン『沈黙の春』(1962)です：

*Printemps silencieux* (仏訳)

化学物質による野生生物や自然生態系への影響、人間の体内での濃縮、次世代に与える影響にまで警鐘を鳴らし、全米の国民に衝撃を与えた。『沈黙の春』というタイトルには、化学物質を何の規制もなく使い続ければ地球の汚染が進み、春が来ても小鳥は鳴かず、世界は沈黙に包まれるだろうという意味が込められている...

<https://www.goo.ne.jp/green/business/word/ecoword/E00536.html>

これに対して *Terre silencieuse* では、現在進行中の昆虫の劇的減少を分析。ヨーロッパ全体で昆虫の総数がここ30~40年の間に80%も減ったと想定されるのに、一部の専門家を除いて政策決定者達も国民も殆ど知らず、問題視さえされていない。このままでは、花粉を運んでくれる昆虫を必要とする農業などに甚大な影響が及ぶ...